

ワークシート Tシャツの値段とその裏側

1枚3,000円のTシャツが売られています。
その製造や販売に関わる以下の5人は、
3,000円のうちどれくらいのお金を得られるでしょうか。
それぞれの人の立場に立って、
金額とその理由を考えてみましょう。



1. 縫製工場の労働者

円

私はTシャツを作っています。決められたデザインどおりに布を切り、ミシンで縫って、アイロンをかけて、袋詰めをします。毎日同じ作業の繰り返しです。

朝8時から夜10時過ぎまで残業して働いているのに、休憩時間は少なく、給料もきちんともらえないことがあります。

2. 縫製工場の工場長

円

私は工場で働く労働者を管理し、工場経営にかかる費用を支払います。良い品質のTシャツを作り、納期を守らなければなりません。

Tシャツの製造量と納品までのスケジュールは、バイヤーと一緒に決めますが、最近はとても短い期間で納品することが求められます。でも断ると仕事がなくなって工場が経営できなくなってしまいますので、どんな条件でも受けざるを得ません。

3. バイヤー

円

私はTシャツを作る工程に関わっています。Tシャツをどこで、どのくらいの期間で作るかを決めます。Tシャツを作るのに必要な繊維なども調達し、材料費を支払います。

できるだけ早くそして安くTシャツを作る必要があるため、その条件に対応できる縫製工場を選んでいきます。

4. アパレルメーカー

円

私はどのようなTシャツを作るかを決めます。最近の流行などを踏まえて、どのようなTシャツが消費者に求められているかを考えることが大切です。Tシャツのデザインをデザイナーにお願いしたり、テレビCMやSNSを使って広報宣伝を行います。

また、縫製工場から販売店にTシャツを輸送するので、その輸送費も支払っています。

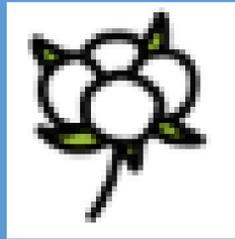
5. 小売業（アパレルショップ）

円

私はTシャツをお店で販売します。そのために、店舗を買うか借りる必要があります。そして、お客さんに買いに来てもらえるよう、お店の宣伝をしたり、お店を魅力的な内装にするなどの工夫が必要です。また、お店で働くショップ店員も雇い、その給料も支払わなければなりません。

ワークシート 服が作られるまで

原料を生産し、収穫する



原料から繊維を取り出し、糸にする



布を織って、染める



縫製工場で布を加工し、服を作る



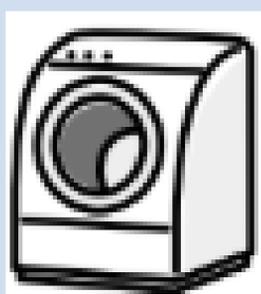
完成した服がお店に運ばれる



服がお店で販売される



服を買い、手入れしながら着る



古くなった服が捨てられる

